

# 1. クロップングシステム部門

## <平成9年度>

平成9年度の運営(作付概要)については前号に示したが、平成9年度作物別耕種概要を第1・2表に示した。

## <平成10年度>

平成10年度の担当圃場面積は149.75a、作付面積は199.35aで作付率は133%であった。前年度と比較すると、圃場面積・作付延べ面積ともにほぼ同じであった。当部門に今年度から新規採用技官1名を加え、技官2名・技能補佐員1名の計3人で担当した。

第3・4表に1998年度クロップングシステム部門作付概要を示した。

カンショは汎用温室で育苗し、ビニールマルチ栽培で安定した技術体系が確立した。今年度は昨年以上に多肥栽培(特に塩化加里 $K_2O$ )を行い、また夏期の灌水に注意を払い1個当たりのイモ重を大きくした。その結果芋掘りは好評であった。本年度初めての試みとして定植後の個体から伸長枝を採苗(1株から約2本、定植後25日目)して移植したところ、生育・収量とも良好であった。今後の課題としては詳細な収量分析を行いたい。

エダマメは温室・ビニールマルチ・露地栽培を行っている当部門の主力作目である。温室・ビニールハウス栽培は灌水の均一化によって高収量が得られたが、露地栽培では4・5月の多雨のため一部移植栽培に切替ざるを得なかった。また予定日に播種(直播)できない区もあったが前年を上回る生産が得られた。また基礎農学実習(2年次・前期)では当作目を供用した。

カボチャは4・5月の高温多雨のため生育が早まり例年よりも約1ヶ月早く6月30日で8割の収穫を終えた。一部果実に腐敗を生じ収量的にはやや低かった。

春ブロッコリーは初めて紙マルチ栽培を試みたが不作であった。4～6月は多雨にもかかわらず紙マルチの中は乾燥しており、水分不足であった。灌水方法に主因があると思われる、今後の課題として工夫・改善を計りビニールマルチから紙マルチの移行を考慮したい。

秋ブロッコリーは10月の台風で一部倒伏があったが品質・生産に影響なく販売単価も高く前年を上回った。

春カンランは平年並みの収量であった。一部紙マルチ栽培を試みた。結果は春ブロッコリーと同じで、明らかに水分不足であった。今後の課題としたい。

秋カンランは育苗・定植時の猛暑、生育時の高温多雨、害虫の異常発生等、栽培管理で苦慮したがまずまずの収量であった。一般市場の価格の高騰で収入面では前年を大きく上回った。

カブは作付面積5aうち1aはビニールハウスのエダマメ栽培のマルチを再利用して無肥料栽培とし、4aは通常の露地栽培を行った。生育初期に害虫の被害があったものの生産・収量には影響はなかった。むしろ例年に比べ変形も少なく品質も良好であった。播種期を9月内で行った事が好結果になったと思われる。前年よりも約2倍の増収で過去最高であった。

サトイモは基肥に苦土石灰の多投、夏期の乾害防止として畦間に灌漑水を行い増収を計った。その結果生育も順調で前年を上回る収量であった。しかし収穫始が12月中旬と遅滞するため(他作目との競合)販売適期に間に合わず、1・2月で減額での販売となり思ったほど収入はあがらなかった。今後の課題が多く改善を計りたい。

ダイコンは春・秋作とも高温多雨の影響と思われる根腐れが一部生じ、秋作の生育初期には害虫の異常発生して前半は苦慮したが後半は生育も順調であった。単価も高く増収となった。秋作ダイコンは基礎農学実習(後期)で供用するとともに、技官の研究にも供した。

ホウレンソウは当部門の主力の1作目であり技術体系を築いてきた。春・秋作の温室・ビニールハウス栽培は順調であったが、秋作の露地栽培では例年よりも早く8月から作付けを始めたが猛暑・発芽不良・生育障害・病虫害の発生と悪条件が重なり前半は不作であった。何度か追播を行ったが結果は同じであった。時期的に無理なようであるが今後の課題としたい。後半も高温と長雨(10月)が続いたが影響も少なく順調であった。前年と比べ収量は低かったが

収入では過去最高となった。秋作ホウレンソウは基礎農学実習(後期)にも供した。また技官による昨年に引き続き試験研究を行った。

スイートコーンは前年と同様に低収量であった。ここ数年低迷しているが当部門の輪作体系に欠くことのできない作目であり、今後の工夫・改善をはかりたい。

ニンジンでは春作では一部生育障害・根腐れが生じた。秋作は昨年よりも播種期を早めたものの土壌処理除草剤の薬害が生じ4分の3は再播種をした。生産は前年とほぼ同じであったが、収穫期の遅れ・個体の大きさ等品質的にも問題があり反省点が多かった。特にニンジンの播種は多労力を要し、今年のように二度播きになったことは労力・時間で大きなマイナスになった。今後の課題として播種方法、マルチ栽培の見直しを考えたい。

ネギは例年よりも約1ヶ月早く7月には移植が終了した。病虫害の防除は早期処置で抑制できた。台風の影響もなく生育は順調であった。また2度の追肥の効果も大であった。生産量・収入とも前年を大きく上回った。今後の課題として除草対策と収穫時の機械化をはかりたい。

バレイショは前年を大きく下回る結果となった。

春バレイショは1品種(レッドアンデス)を加え5品種の作付けをしたものの全体の作付面積の縮小で増収とはならなかった。また秋バレイショは大不作となった。9～10月の高温多雨・台風と当部門で唯一被害の大きかった作目であった。

シュンギクは全て温室栽培で行った。小規模ではあるが安定した生産を上げている作目である。ちなみに今年度の面積当たりの収入では最も高い作目であった。

ミズナは従来の直播栽培から一部移植栽培にかえた結果、生育・品質とも良好であった。前年を大幅に上回る収量を上げた。今後は移植栽培をに力点を置きたい。

レタスは今年から新たに秋作として導入した作目である。2品種(レッドウェーブ・シスコ)を選択した。ビニールハウスで育苗の後、レッドウェーブは全て温室で直播と移植栽培をおこない、シスコは温室と露地で移植栽培をおこなった。シスコの温室栽培は高温のため結球に問題があったが全体としては生育・品質とも良好であり、販売所でも好評であった。新規導入作目として見通しを得た。

(山奥 隆・酒井富美子)

第1表 クロッピングシステム部門1997年度作物別耕種概要(A)

作目	圃場	面積 a	品種	生産量 kg	収量 kg/10a	栽培密度 株/a	畦幅 cm	株間 cm
カンショ(K14)	西5	21.00	高系14	6528.0	2720.0	417	120	20
カンショ(K14-1)	西3	2.00	高系14			417	120	20
カンショ(VS6)	西5	1.00	6品種			417	120	20
エダマメ(SP1)	温室A	1.50	サッポロミドリ	142.0	473.3	794	60	21
エダマメ(SP2)	温室A	1.50	サッポロミドリ			794	60	21
エダマメ(HS1)	ハウス2	2.00	宝石	131.0	655.0	595	80	21
エダマメ(SH2)	西4	2.50	宝石	1297.0	741.1	595	80	21
エダマメ(SH3)	西4	3.00	宝石			595	80	21
エダマメ(SH4)	西4	3.00	宝石			595	80	21
エダマメ(HK1)	西4	3.00	北海黒豆			595	80	21
エダマメ(HK2)	西4	3.00	北海黒豆			595	80	21
エダマメ(HK3)	西4	1.50	北海黒豆			595	80	21
エダマメ(TG)	西6	1.50	丹波黒			794	60	21
カボチャ(RK)	南5	2.50	利休	1953.0	1953.0	17	300	200
カボチャ(AZ)	南5	2.50	赤づきん			17	300	200
カボチャ(EB)	南5	2.50	えびす			17	300	200
カボチャ(HT)	南5	2.50	はやと			17	300	200
スイートコーン(KT1)	西1	3.00	カクテル86	1364.0	1136.7	265	90	42
スイートコーン(KT2)	西1	3.00	カクテル86			265	90	42
スイートコーン(KT3)	西1	3.00	カクテル86			265	90	42
スイートコーン(AS)	西1	3.00	アストロパンタム			265	90	42
春カンラン(OK1)	南3	1.20	おきな	2643.5	1705.4	333	60	50
春カンラン(OK2)	南3	1.20	おきな			333	60	50
春カンラン(SS)	南3	2.40	初秋			333	60	50
カンラン(HS)	南5	1.70	早秋			333	60	50
カンラン(NP)	南5	1.70	南宝			333	60	50
カンラン(KG1)	南5	2.80	湖月			333	60	50
カンラン(KG2)	南3	0.60	湖月			333	60	50
カンラン(US)	南5	3.90	うしお			333	60	50
カリフラワー(1)	南3	0.60	スノークラウン	136.3	1135.8	333	60	50
カリフラワー(2)	南3	0.60	スノークラウン			333	60	50
春ブロッコリー(SE)	南3	0.30	スティックセニョール	860.5	1687.2	333	60	50
春ブロッコリー(HT1)	南3	0.90	ハイツ			333	60	50
春ブロッコリー(HT2)	南3	1.20	ハイツ			333	60	50
春ブロッコリー(HT3)	ハウス1	1.50	ハイツ	108.5	542.5	333	60	50
ブロッコリー(HT1)	南3	1.80	ハイツ			333	60	50
ブロッコリー(HT2)	南3	1.20	ハイツ			333	60	50

第1表 クロッピングシステム部門 1997年度作物別耕種概要(A)

作目	圃場	面積 a	品種	生産量 kg	収量 kg/10a	栽培密度 株/a	畦幅 cm	株間 cm
春ハウレンソウ(LD1)	温室C	0.50	リード	313.1	1043.7	1111	60	15
春ハウレンソウ(PR)	温室C	0.50	パレード			1111	60	15
春ハウレンソウ(LD2)	南3	1.20	リード	2178.5	2135.8	1111	60	15
春ハウレンソウ(LD3)	南3	1.20	リード			1111	60	15
春ハウレンソウ(LD4)	南3	0.60	リード			1111	60	15
春ハウレンソウ(OK1)	南3	0.60	おかめ			1111	60	15
春ハウレンソウ(OK2)	温室C	0.50	おかめ			1111	60	15
春ハウレンソウ(OK3)	南3	0.30	おかめ			1111	60	15
春ハウレンソウ(OK4)	南3	0.30	おかめ			1111	60	15
春ハウレンソウ(OK5)	南3	0.60	おかめ			1111	60	15
ハウレンソウ(LD1)	南3	1.20	リード			1111	60	15
ハウレンソウ(LD2)	南3	1.20	リード			1111	60	15
ハウレンソウ(LD3)	南3	1.20	リード			1111	60	15
ハウレンソウ(PL1)	南3	0.60	パレード			1111	60	15
ハウレンソウ(PL2)	南3	0.60	パレード			1111	60	15
ハウレンソウ(PL3)	南3	0.60	パレード			1111	60	15
ハウレンソウ(OR1)	ハウス1	1.00	オーライ			1111	60	15
ハウレンソウ(OR2)	ハウス2	1.50	オーライ			*	30	条播
ハウレンソウ(OR3)	温室A	1.50	オーライ	277.0	923.3	*	30	条播
サトイモ	西3	8.00	ずいき	988.0	1235.0	139	120	60
シュンギク(1)	温室C	0.50	おたふく	90.0	1800.0	1111	60	15
シュンギク(2)	ハウス1	0.50	おたふく	69.5	1390.0	1111	60	15
ミズナ(1)	西1	0.25	千筋	421.5	4215.0	1111	60	15
ミズナ(2)	西1	0.25	千筋			1111	60	15
ミズナ(3)	西1	0.50	千筋			1111	60	15
春カブ(1)	温室C	0.50	ひかり	248.5	1656.7	1111	60	15
春カブ(2)	温室C	0.50	ひかり			1111	60	15
春カブ(3)	温室C	0.50	ひかり			1111	60	15
カブ(1)	西4	2.00	ひかり	1282.0	2136.7	833	60	20
カブ(2)	西4	2.00	ひかり			694	60	24
カブ(3)	西4	2.00	ひかり			694	60	24
春ダイコン(1)	西3	1.00	おはる	4011.0	3646.4	694	60	24
春ダイコン(2)	西3	1.00	おはる			694	60	24
春ダイコン(3)	西3	1.00	おはる			694	60	24
春ダイコン(4)	西3	1.00	おはる			694	60	24

第1表 クロッピングシステム部門 1997年度作物別耕種概要(A)

作目	圃場	面積 a	品種	生産量 kg	収量 kg/10a	栽培密度 株/a	畦幅 cm	株間 cm
ダイコン(TS1)	西1	1.00	耐病総太り			694	60	24
ダイコン(TS2)	西1	1.00	耐病総太り			694	60	24
ダイコン(TS3)	西1	1.00	耐病総太り			694	60	24
ダイコン(TS4)	西1	2.00	耐病総太り			694	60	24
ダイコン(TM1)	西1	1.00	耐病宮重			694	60	24
ダイコン(TM2)	西1	0.50	耐病宮重			694	60	24
春ニンジン(IN)	西1	0.50	イナリ五寸	2051.5	2930.7	3333	30	10
春ニンジン(AS1)	西1	0.50	アスベニ五寸			3333	30	10
春ニンジン(AS2)	西1	1.00	アスベニ五寸			3333	30	10
ニンジン(YM1)	西4	1.00	陽明五寸			3333	30	10
ニンジン(YM2)	西4	0.50	陽明五寸			3333	30	10
ニンジン(YM3)	西4	0.50	陽州五寸			3333	30	10
ニンジン(YM4)	西4	1.00	陽州五寸			3333	30	10
ニンジン(HK1)	西4	1.00	本紅金時			3333	30	10
ニンジン(HK2)	西4	0.50	本紅金時			3333	30	10
春バレイショ(DS)	西2	4.00	男爵	3427.0	1803.7	400	100	25
春バレイショ(MQ)	西2	4.00	メイクイーン			400	100	25
春バレイショ(SY)	西2	2.00	セトユタカ			400	100	25
春バレイショ(DZ)	西2	3.00	デジマ			400	100	25
秋バレイショ(DZ)	西2	4.60	デジマ			400	100	25
秋バレイショ(AD)	西2	1.40	アンデス			400	100	25
ハボタン(SK)	西3	1.00	F1白かもめ	477.0	954.0	333	60	50
ハボタン(BK)	西3	1.00	F1紅かもめ			333	60	50
ハボタン(SM)	西3	1.50	F1白まるは			333	60	50
ハボタン(BM)	西3	1.50	F1紅まるは			333	60	50
春ネギ(KH)	温室C	1.00	小春	235.4	2354.0	*	30	条播
春ネギ(QJ)	温室C	1.50	九条ネギ			*	30	条播
ネギ	西2	12.00	九条ネギ	1937.6	1614.7	444	90	25
パクチョイ	西4	0.50		55.5	1110.0	3333	30	10
アスパラガス	西5	1.00	ポールトム	36.8	368.0	333	60	50
マビキナ(ニンジン)	-*		-	116.3		*	*	*
マビキナ(ダイコン)	-*		-	139.5		*	*	*
マビキナ(カブ)	-*		ひかり	174.5		*	*	*
カンショ苗	温室A		高系14	3705.0		*	*	*

第2表 クロッピングシステム部門1997年度作物別耕種概要 (B C)

作目	播種日	定植日	収穫始	収穫終	施肥量 kg/10a			基肥量 kg/10a		
					N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O
カンショ (K14)	03.17	05.08	10.03	03.03	11.6	21.4	9.0	11.6	21.4	9.0
カンショ (K14-1)	03.17	05.09	08.11	11.12	11.9	25.2	9.3	11.9	25.2	9.3
カンショ (VS6)	03.17	05.30	11.21	11.21	11.6	21.4	9.0	11.6	21.4	9.0
エダマメ (SP1)	03.03		06.11	06.18	4.2	17.4	20.0	4.2	17.4	20.0
エダマメ (SP2)	03.14		06.13	06.18	4.2	17.4	20.0	4.2	17.4	20.0
エダマメ (HS1)	04.04		06.30	07.04	8.5	18.5	20.5	8.5	18.5	20.5
エダマメ (SH2)	04.14		07.07	07.14	5.1	13.1	17.1	5.1	13.1	17.1
エダマメ (SH3)	05.06		07.22	08.01	5.1	13.1	17.1	5.1	13.1	17.1
エダマメ (SH4)	05.19		08.01	08.12	6.6	13.3	5.1	6.6	13.3	15.1
エダマメ (HK1)	06.02		08.18	08.22	6.6	13.3	15.1	6.6	13.3	15.1
エダマメ (HK2)	06.12		08.25	08.29	6.6	13.3	15.1	6.6	13.3	15.1
エダマメ (HK3)	06.24		09.01	09.05	6.6	13.3	15.1	6.6	13.3	15.1
エダマメ (TG)	07.03		10.06	10.16	3.2	7.2	15.2	3.2	7.2	15.2
カボチャ (RK)	03.25		06.23	07.30	14.1	26.1	11.1	14.1	26.1	11.1
カボチャ (AZ)	03.25		06.23	07.30	14.1	26.1	11.1	14.1	26.1	11.1
カボチャ (EB)	03.25		06.23	07.30	14.1	26.1	11.1	14.1	26.1	11.1
カボチャ (HT)	03.25		06.28	07.30	14.1	26.1	11.1	14.1	26.1	11.1
スイートコーン (KT1)	04.14		07.07	07.14	24.2	30.9	21.2	20.5	27.2	17.5
スイートコーン (KT2)	05.07		07.17	07.22	20.5	27.2	17.5	20.5	27.2	17.5
スイートコーン (KT3)	05.28		08.04	08.08	20.5	27.2	17.5	20.5	27.2	17.5
スイートコーン (AS)	06.13		08.21	08.27	20.5	27.2	17.5	20.5	27.2	17.5
春カンラン (OK1)	02.25	04.04	06.09	07.11	19.5	31.5	17.2	19.5	31.5	17.2
春カンラン (OK2)	02.25	04.11	06.12	07.11	19.5	31.5	17.2	19.5	31.5	17.2
春カンラン (SS)	03.07	04.15	06.16	07.11	19.5	31.5	17.2	19.5	31.5	17.2
カンラン (HS)	07.23	09.03	11.07	12.19	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2
カンラン (NP)	07.23	09.03	11.07	12.19	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2
カンラン (KG1)	07.31	09.16	12.22	03.12	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2
カンラン (KG2)	08.05	09.16	01.06	03.30	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3
カンラン (US)	08.05	09.16	12.22	02.05	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2
カリフラワー (1)	07.31	09.03	11.10	12.26	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3
カリフラワー (2)	07.31	09.08	11.17	12.26	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3
春ブロッコリー (SE)	02.25	04.04	05.19	06.26	19.5	31.5	17.2	19.5	31.5	17.2
春ブロッコリー (HT1)	02.25	04.04	05.22	06.26	19.5	31.5	17.2	19.5	31.5	17.2
春ブロッコリー (HT2)	02.25	04.04	06.04	06.26	19.5	31.5	17.2	19.5	31.5	17.2
春ブロッコリー (HT3)	03.07	04.15	05.27	06.26	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
ブロッコリー (HT1)	07.31	09.03	11.10	02.03	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3
ブロッコリー (HT2)	08.05	09.08	11.14	02.03	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3

第2表 クロッピングシステム部門1997年度作物別耕種概要 (B C)

作目	播種日	定植日	収穫始	収穫終	施肥量			基肥量		
					kg/10a			kg/10a		
					N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O
春ホウレンソウ(LD1)	02.25		04.07	04.18	16.1	16.1	13.1	16.1	16.1	13.1
春ホウレンソウ(PR)	02.25		04.21	05.07	16.1	16.1	13.1	16.1	16.1	13.1
春ホウレンソウ(LD2)	03.05		04.28	05.09	22.7	30.7	20.4	22.7	30.7	20.4
春ホウレンソウ(LD3)	03.14		05.12	05.16	22.7	30.7	20.4	22.7	30.7	20.4
春ホウレンソウ(LD4)	04.02		05.19	05.23	22.7	30.7	20.4	22.7	30.7	20.4
春ホウレンソウ(OK1)	04.16		05.26	05.30	22.7	30.7	20.4	22.7	30.7	20.4
春ホウレンソウ(OK2)	04.25		06.02	06.10	16.1	16.1	13.1	16.1	16.1	13.1
春ホウレンソウ(OK3)	05.16		06.11	06.18	22.7	30.7	20.4	22.7	30.7	20.4
春ホウレンソウ(OK4)	05.22		06.16	06.18	22.7	30.7	20.4	22.7	30.7	20.4
ホウレンソウ(OK5)	05.27		06.20	07.03	22.7	30.7	20.4	22.7	30.7	20.4
ホウレンソウ(LD1)	09.09		10.17	10.23	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ホウレンソウ(LD2)	09.18		10.24	11.07	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ホウレンソウ(LD3)	09.29		11.07	11.21	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ホウレンソウ(PL1)	10.06		11.25	12.08	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ホウレンソウ(PL2)	10.07		12.09	12.24	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ホウレンソウ(PL3)	10.15		12.19	12.26	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ホウレンソウ(OR1)	10.20		01.05	02.16	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0
ホウレンソウ(OR2)	10.30		01.08	01.20	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8
ホウレンソウ(OR3)	11.06		01.16	02.13	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
サトイモ	04.09		11.12	12.17	19.9	33.2	17.3	19.9	33.2	17.3
シュンギク(1)	10.16		12.02	01.23	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4
シュンギク(2)	10.20		01.09	03.20	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0
ミズナ(1)	09.22		10.23	11.06	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ミズナ(2)	09.24		11.10	11.18	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ミズナ(3)	10.06		11.19	02.04	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
春カブ(1)	02.26		04.07	04.22	16.1	16.1	13.1	16.1	16.1	13.1
春カブ(2)	03.10		04.23	05.06	16.1	16.1	13.1	16.1	16.1	13.1
春カブ(3)	04.02		05.08	05.27	16.1	16.1	13.1	16.1	16.1	13.1
カブ(1)	09.11		10.27	11.25	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
カブ(2)	09.22		11.26	12.26	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
カブ(3)	09.30		01.05	02.06	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
春ダイコン(1)	04.01		05.28	06.25	19.9	19.9	17.3	19.9	19.9	17.3
春ダイコン(2)	04.07		05.28	06.25	19.9	19.9	17.3	19.9	19.9	17.3
春ダイコン(3)	04.17		06.10	07.01	19.9	19.9	17.3	19.9	19.9	17.3
春ダイコン(4)	05.02		06.23	07.11	19.9	19.9	17.3	19.9	19.9	17.3

第2表 クロッピングシステム部門1997年度作物別耕種概要 (B C)

作目	播種日	定植日	収穫始	収穫終	施肥量 kg/10a			基肥量 kg/10a		
					N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O
ダイコン(TS1)	08.29		10.27	11.21	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ダイコン(TS2)	09.09		11.10	11.21	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ダイコン(TS3)	09.19		11.25	12.19	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ダイコン(TS4)	10.01		12.22	02.10	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ダイコン(TM1)	09.24		12.02	12.19	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ダイコン(TM2)	09.30		12.05	01.30	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
春ニンジン(IN)	03.06		05.28	06.23	20.5	33.8	17.5	20.5	33.8	17.5
春ニンジン(AS1)	03.06		06.16	07.09	20.5	33.8	17.5	20.5	33.8	17.5
春ニンジン(AS2)	03.19		07.10	08.08	20.5	33.8	17.5	20.5	33.8	17.5
ニンジン(YM1)	08.28		11.18	12.04	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4
ニンジン(YM2)	09.04		11.21	12.19	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4
ニンジン(YM3)	09.05		11.21	12.19	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4
ニンジン(YM4)	09.10		12.17	02.03	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4
ニンジン(HK1)	09.05		12.17	02.03	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4
ニンジン(HK2)	10.02		12.04	02.05	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4
春バレイショ(DS)	03.03		06.02	06.16	19.0	24.3	17.0	19.0	24.3	17.0
春バレイショ(MQ)	03.03		06.17	06.26	19.0	24.3	17.0	19.0	24.3	17.0
春バレイショ(SY)	03.03		06.02	06.17	19.0	24.3	17.0	19.0	24.3	17.0
春バレイショ(DZ)	03.03		06.18	06.26	19.0	24.3	17.0	19.0	24.3	17.0
秋バレイショ(DZ)	09.02		11.25	12.05	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4
秋バレイショ(AD)	09.02		12.10	12.10	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4
ハボタン(SK)	08.05	09.05	11.07	12.26	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ハボタン(BK)	08.05	09.05	11.07	12.26	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ハボタン(SM)	08.05	09.05	11.07	12.26	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ハボタン(BM)	08.05	09.05	11.07	12.26	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
春ネギ(KH)	02.25		05.15	07.10	16.1	16.1	13.1	16.1	16.1	13.1
春ネギ(QJ)	04.22		07.11	10.01	16.1	16.1	13.1	16.1	16.1	13.1
ネギ	04.22	08.20	10.22	03.20	22.1	16.8	16.0	16.0	16.0	16.0
パクチョイ	10.09		11.18	12.19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	04.28		04.04	05.06	12.5	12.5	9.5	4.5	4.5	1.5
マビキナ(ニンジン)										
マビキナ(ダイコン)										
マビキナ(カブ)										
カンショ苗					12.8	12.8	12.8	8.0	8.0	8.0



第3表 クロッピングシステム部門 1998 年度作物別耕種概要 (A)

作目	圃場	面積 a	品種	生産量 kg	収量 kg/10a	栽培密度 株/a	畦幅 cm	株間 cm
カンショ (K14-1)	西3	2.00	高系14			417	120	20
カンショ (K14-2)	西5	20.00	高系14			417	120	20
カンショ (VS6)	西5	1.00	6品種			417	120	20
エダマメ (SP1)	温室C	2.50	サッポロミドリ	220.0	880.0	794	60	21
エダマメ (SP2)	ハウス2	1.50	サッポロミドリ	350.0	1750.0	794	60	21
エダマメ (HS1)	西3	1.00	宝石	1285.0	1070.8	794	60	21
エダマメ (HS2)	西1	1.20	宝石			595	80	21
エダマメ (HS3)	西1	1.80	宝石			595	80	21
エダマメ (HS4)	西1	2.00	宝石			595	80	21
エダマメ (HK1)	西1	2.00	北海黒豆			595	80	21
エダマメ (HK2)	西1	2.00	北海黒豆			595	80	21
エダマメ (TG)	西5	2.00	丹波黒			595	80	21
カボチャ (RK)	西4	3.30	利休	1835.5	1390.5	10	400	250
カボチャ (AZ)	西4	3.30	赤づきん			10	400	250
カボチャ (EB)	西4	3.30	えびす			10	400	250
カボチャ (HT)	西4	3.30	はやと			13	400	200
スイートコーン (KT1)	南3	2.50	カクテル86	1515.0	1515.0	265	90	42
スイートコーン (KT2)	南3	3.50	カクテル86			265	90	42
スイートコーン (AB1)	南3	2.00	アストロバンタム			265	90	42
スイートコーン (AB2)	南3	2.00	アストロバンタム			265	90	42
春カンラン (OK1)	西4	1.50	おきな			333	60	50
春カンラン (OK2)	西4	0.50	おきな			333	60	50
春カンラン (SS1)	西4	2.00	初秋			333	60	50
カンラン (SS)	西4	1.00	初秋			333	60	50
カンラン (OK)	西4	1.00	おきな			333	60	50
カンラン (NP)	西4	1.00	南宝			333	60	50
カンラン (UO)	西4	1.50	うしお			333	60	50
カンラン (KG)	西4	2.00	湖月			333	60	50
カリフラワー (1)	西4	0.50	スノークラウン	207.0	1380.0	333	60	50
カリフラワー (2)	西4	0.50	スノークラウン			333	60	50
カリフラワー (3)	西4	0.50	スノークラウン			333	60	50
春ブロッコリー (HT1)	西6	0.50	ハイツ			333	60	50
春ブロッコリー (HT2)	西6	0.75	ハイツ			333	60	50
春ブロッコリー (SS1)	西6	0.25	スティックセニョール			333	60	50
ブロッコリー (HT1)	西4	1.00	ハイツ			333	60	50
ブロッコリー (HT2)	西4	0.50	ハイツ			333	60	50
ブロッコリー (HT3)	西4	1.00	ハイツ			333	60	50
ブロッコリー (HT4)	西4	0.50	ハイツ			333	60	50

第3表 クロッピングシステム部門1998年度作物別耕種概要 (A)

作目	圃場	面積 a	品種	生産量 kg	収量 kg/10a	栽培密度 株/a	畦幅 cm	株間 cm
春ホウレンソウ(LD1)	西3	1.00	リード			1111	60	15
春ホウレンソウ(LD2)	西3	1.00	リード			1111	60	15
春ホウレンソウ(LD3)	西3	1.00	リード			1111	60	15
春ホウレンソウ(OK1)	ハウス3	0.50	おかめ			1111	60	15
春ホウレンソウ(OK2)	西3	0.50	おかめ			1111	60	15
春ホウレンソウ(OK3)	西3	0.50	おかめ			1111	60	15
ホウレンソウ(PL1)	西3	1.00	パレード			1111	60	15
ホウレンソウ(PL2)	西3	1.00	パレード			1111	60	15
ホウレンソウ(PL3)	西3	1.00	パレード			1111	60	15
ホウレンソウ(RD1)	西3	1.00	リード			1111	60	15
ホウレンソウ(RD2)	ハウス2	0.50	リード			794	60	21
ホウレンソウ(RD3)	西4	1.00	リード			1111	60	15
ホウレンソウ(RD4)	西4	0.50	リード			1111	60	15
ホウレンソウ(RD5)	温室A	1.00	リード	100.8	1008.0	1111	60	15
ホウレンソウ(RD6)	西4	1.00	リード			1111	60	15
ホウレンソウ(RD7)	西4	1.00	リード			1111	60	15
ホウレンソウ(RD8)	ハウス3	1.00	リード			*	30	条播
ホウレンソウ(OR1)	ハウス3	0.50	オーライ			*	30	条播
ホウレンソウ(OR2)	ハウス2	0.50	オーライ			*	30	条播
サトイモ	西2	7.50	ずいき			139	120	60
シュンギク(1)	温室A	0.50	おたふく			1111	60	15
シュンギク(2)	温室A	0.50	おたふく			1111	60	15
ミズナ(1)	西2	0.50	千筋			1111	60	15
ミズナ(2)	西2	0.50	千筋			1111	60	15
ミズナ(3)	西4	0.50	千筋			1111	60	15
春カブ(1)	温室A	0.50	ひかり	231.0	2310.0	1111	60	15
春カブ(2)	温室A	0.50	ひかり			1111	60	15
カブ(1)	西1	2.00	ひかり			833	60	20
カブ(2)	西1	1.00	ひかり			833	60	20
カブ(3)	西1	0.50	ひかり			833	60	20
カブ(4)	ハウス2	1.00	ひかり			794	60	21
カブ(5)	西1	0.50	ひかり			833	60	20
春ダイコン(1)	西2	1.00	おはる	4089.5	4543.9	694	60	24
春ダイコン(2)	西2	1.00	おはる			694	60	24
春ダイコン(3)	西2	1.00	おはる			694	60	24
ダイコン(1)	西2	1.00	耐病総太り			833	60	20
ダイコン(2)	西2	1.00	耐病総太り			833	60	20
ダイコン(3)	西2	1.00	耐病総太り			833	60	20
ダイコン(4)	西2	1.00	耐病総太り			833	60	20
ダイコン(5)	西2	1.00	耐病総太り			833	60	20
ダイコン(TM)	西2	1.00	耐病宮重			833	60	20

第3表 クロッピングシステム部門1998年度作物別耕種概要 (A)

作目	圃場	面積 a	品種	生産量 kg	収量 kg/10a	栽培密度 株/a	畦幅 cm	株間 cm
春ニンジン(AS1)	西3	1.00	アスベニ五寸			3333	30	10
春ニンジン(AS2)	西3	0.50	アスベニ五寸			3333	30	10
春ニンジン(IR1)	西3	0.50	イナリ五寸			3333	30	10
春ニンジン(IR2)	西3	0.50	イナリ五寸			3333	30	10
ニンジン(SK)	西3	1.00	鮮紅五寸			3333	30	10
ニンジン(YM1)	西3	1.00	陽明五寸			3333	30	10
ニンジン(YM2)	西3	1.00	陽明五寸			3333	30	10
ニンジン(KT)	西3	1.00	本紅金時			3333	30	10
春バレイショ(DS)	南3	3.50	男爵いも	2336.0	1507.1	400	100	25
春バレイショ(MQ)	南3	2.00	メイクイーン			400	100	25
春バレイショ(SY)	南3	1.50	セトユタカ			400	100	25
春バレイショ(DZ)	南3	1.50	デジマ			400	100	25
春バレイショ(AD)	南3	1.00	レッドアンデス			400	100	25
秋バレイショ(DZ)	南3	5.00	デジマ			400	100	25
秋バレイショ(AD)	南3	1.00	レッドアンデス			400	100	25
ハボタン(RK1)	西2	1.00	F1紅かもめ	755.0	2516.7	333	60	50
ハボタン(WK1)	西2	1.00	F1白かもめ			333	60	50
ハボタン(RM)	西2	0.50	F1紅まるは			333	60	50
ハボタン(WM)	西2	0.50	F1白まるは			333	60	50
ハボタン(RK2)	温室C	0.10	F1紅かもめ			333	60	50
ハボタン(WK2)	温室C	0.10	F1白かもめ			333	60	50
春ネギ(KH)	温室A	1.00	小春	209.6	20960.0	*	30	条播
春ネギ(QJ1)	温室A	0.50	九条ネギ			*	30	条播
春ネギ(QJ2)	ハウス3	0.50	九条ネギ			*	30	条播
ネギ(QJ3)	南3	10.00	九条ネギ			444	90	25
レタス(CS1)	温室C	1.00	シスコ	298.5	1297.8	833	60	20
レタス(CS2)	西4	0.50	シスコ	134.3	2686.0	833	60	20
レタス(RW1)	温室C	0.50	レッドウェーブ			833	60	20
レタス(RW2)	温室C	0.50	レッドウェーブ			833	60	20
レタス(RW3)	温室C	0.30	レッドウェーブ			833	60	20
アスパラガス	西5	1.00	ポールトム	22.0	220.0	333	60	50
マビキナ(ニンジン)	-*	*	-	81.6		*	*	*
マビキナ(ダイコン)	-*	*	-	152.0		*	*	*
マビキナ(カブ)	-*	*	ひかり	122.2		*	*	*
カンショ苗	温室A	*	高系14	2474.0		*	*	*
ボクソウ	南3	10.00	ソルゴー	0.0	0.0	*	*	*

第4表 クロッピングシステム部門1998年度作物別耕種概要(BC)

作目	播種日	定植日	収穫始	収穫終	施肥量			基肥量		
					kg/10a			kg/10a		
					N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O
カンショ(K14-1)	03.19	04.30	08.03	11.17	19.5	7.2	16.3	19.5	7.2	11.3
カンショ(K14-2)	03.19	05.12	10.06	11.26	20.6	18.0	38.0	20.6	18.0	38.0
カンショ(VS6)	03.19	06.04	11.24	11.27	19.5	7.2	16.3	19.5	7.2	11.3
エダマメ(SP1)	02.26		05.21	05.27	3.8	11.2	21.6	3.8	11.2	21.6
エダマメ(SP2)	04.02		06.15	06.26	3.8	11.2	21.6	3.8	11.2	21.6
エダマメ(HS1)	04.13	05.01	06.29	07.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エダマメ(HS2)	05.07		07.21	07.24	8.2	19.4	26.2	8.2	19.4	26.2
エダマメ(HS3)	05.20		08.03	08.12	6.2	21.2	34.7	6.2	21.2	34.7
エダマメ(HS4)	06.01		08.12	08.24	3.2	11.7	19.8	3.2	11.7	19.8
エダマメ(HK1)	06.11		08.25	08.31	6.2	26.2	34.7	6.2	26.2	34.7
エダマメ(HK2)	06.18		08.31	09.07	6.2	26.2	34.7	6.2	26.2	34.7
エダマメ(TG)	07.01		10.05	10.22	8.0	23.0	38.0	8.0	23.0	38.0
カボチャ(RK)	03.26		06.17	07.23	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
カボチャ(AZ)	03.26		06.17	07.23	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
カボチャ(EB)	03.26		06.17	07.23	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
カボチャ(HT)	03.26		06.22	07.23	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
スイートコーン(KT1)	04.13	04.30	07.01	07.08	21.1	21.1	19.1	19.0	19.0	17.0
スイートコーン(KT2)	04.28		07.09	07.15	21.1	21.1	19.1	19.0	19.0	17.0
スイートコーン(AB1)	05.20		08.04	08.11	26.1	26.1	24.1	19.0	19.0	17.0
スイートコーン(AB2)	06.05		08.12	08.20	26.1	26.1	24.1	19.0	19.0	17.0
春カンラン(OK1)	02.24	04.03	06.08	06.29	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春カンラン(OK2)	03.11		06.08	06.29	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春カンラン(SS1)	03.11	04.17	06.15	07.10	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
カンラン(SS)	07.22	08.28	10.15	11.18	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
カンラン(OK)	07.22	08.28	10.26	11.18	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
カンラン(NP)	07.30	09.01	11.04	12.01	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
カンラン(UO)	07.30	09.01	11.11	01.11	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
カンラン(KG)	08.06	09.18	11.24		18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
カリフラワー(1)	07.22	08.28	11.02	12.28	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
カリフラワー(2)	07.30	09.01	11.06	12.28	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
カリフラワー(3)	08.06	09.14	11.07	12.28	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
春ブロッコリー(HT1)	02.24	04.03	05.07	06.22	19.4	19.4	17.1	19.4	19.4	17.1
春ブロッコリー(HT 2)	03.11	04.17	06.10	06.22	19.4	19.4	17.1	19.4	19.4	17.1
春ブロッコリー(SS1)	02.24	04.03	05.07	06.22	19.4	19.4	17.1	19.4	19.4	17.1
ブロッコリー(HT1)	07.22	08.28	10.15	12.18	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.0
ブロッコリー(HT2)	07.30	09.01	10.26	01.13	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
ブロッコリー(HT3)	08.06	09.14	11.04		18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
ブロッコリー(HT4)	08.06	10.07	12.18		18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7

第4表 クロッピングシステム部門1998年度作物別耕種概要 (B C)

作目	播種日	定植日	収穫始	収穫終	施肥量 kg/10a			基肥量 kg/10a		
					N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O
春ホウレンソウ(LD1)	03.10		04.21	04.28	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春ホウレンソウ(LD2)	03.23		04.28	05.06	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春ホウレンソウ(LD3)	04.07		05.06	05.13	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春ホウレンソウ(OK1)	04.15		05.14	05.18	18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
春ホウレンソウ(OK2)	04.27		06.04	06.04	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春ホウレンソウ(OK3)	05.15		06.15	06.18	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
ホウレンソウ(PL1)	08.05		09.10	09.18	18.3	18.3	16.7	18.3	18.3	16.7
ホウレンソウ(PL2)	08.12		09.17	09.21	18.3	18.3	16.7	18.3	18.3	16.7
ホウレンソウ(PL3)	08.26		09.21	09.25	18.3	18.3	16.7	18.3	18.3	16.7
ホウレンソウ(RD1)	09.03				18.3	18.3	16.7	18.3	18.3	16.7
ホウレンソウ(RD2)	09.24		11.05	11.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ホウレンソウ(RD3)	09.29		11.06	11.18	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
ホウレンソウ(RD4)	10.05		11.18	12.02	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
ホウレンソウ(RD5)	10.08		11.25	12.21	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
ホウレンソウ(RD6)	10.15		12.07	01.06	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
ホウレンソウ(RD7)	10.21		12.24	01.18	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
ホウレンソウ(RD8)	11.04				13.8	13.8	13.5	13.8	13.8	13.5
ホウレンソウ(OR1)	11.04				13.8	13.8	13.5	13.8	13.8	13.5
ホウレンソウ(OR2)	11.05		01.18		16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
サトイモ	04.08		12.04	12.14	31.5	31.5	31.5	20.5	20.5	17.5
シュンギク(1)	09.24		11.05		20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
シュンギク(2)	10.02		11.11		20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
ミズナ(1)	09.29		11.04	12.14	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ミズナ(2)	10.12		12.16		16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ミズナ(3)	09.29	10.16	11.17	12.02	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
春カブ(1)	02.24		04.15	05.15	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
春カブ(2)	03.11		04.28	05.15	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
カブ(1)	09.07		10.22	12.01	18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
カブ(2)	09.17		12.01	12.18	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
カブ(3)	09.24		12.18	01.07	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
カブ(4)	09.28		12.08		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カブ(5)	09.30		01.04		16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
春ダイコン(1)	03.31		05.25	06.22	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春ダイコン(2)	04.08		06.04	06.24	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春ダイコン(3)	04.24		06.22	07.08	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
ダイコン(1)	08.21		10.14	10.27	18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
ダイコン(2)	08.27		10.22	12.02	18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
ダイコン(3)	09.09		11.04	12.02	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ダイコン(4)	08.27		11.17	12.10	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ダイコン(5)	10.01		12.07	01.08	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ダイコン(TM)	09.29		12.03	01.08	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0

第4表 クロッピングシステム部門1998年度作物別耕種概要 (B C)

作目	播種日	定植日	収穫始	収穫終	施肥量 kg/10a			基肥量 kg/10a		
					N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O
春ニンジン(AS1)	03.16		06.01	07.09	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春ニンジン(AS2)	03.25		06.15	07.15	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春ニンジン(IR1)	03.31		06.18	07.22	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春ニンジン(IR2)	04.07		06.18	07.27	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
ニンジン(SK)	08.05		10.13	11.05	18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
ニンジン(YM1)	09.08		11.24	01.13	18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
ニンジン(YM2)	09.14		12.08		18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
ニンジン(KT)	09.11		12.09		18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
春バレイショ(DS)	03.09		06.01	06.09	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春バレイショ(MQ)	03.09		06.09	06.30	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春バレイショ(SY)	03.10		06.01	06.30	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春バレイショ(DZ)	03.10		06.30	06.30	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
春バレイショ(AD)	03.10		06.30	06.30	20.5	20.5	17.5	20.5	20.5	17.5
秋バレイショ(DZ)	09.01		11.12	11.19	20.2	20.2	20.2	16.0	16.0	16.0
秋バレイショ(AD)	09.01		11.12	11.19	20.2	20.2	20.2	16.0	16.0	16.0
ハボタン(RK1)	08.06	09.21	12.01	12.28	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ハボタン(WK1)	08.06	09.21	12.01	12.28	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ハボタン(RM)	08.06	09.24	12.01	12.28	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ハボタン(WM)	08.06	09.24	12.01	12.28	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ハボタン(RK2)	08.06	10.16	12.28	12.28	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ハボタン(WK2)	08.06	10.16	12.28	12.28	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
春ネギ(KH)	02.24		05.06	06.24	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
春ネギ(QJ1)	02.24		06.23	06.24	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
春ネギ(QJ2)	04.15		06.18	06.30	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
ネギ(QJ3)	04.15	07.31	10.28		39.8	33.5	35.9	18.2	18.2	16.7
レタス(CS1)	09.08	09.30	11.12	12.10	18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
レタス(CS2)	09.08	10.07	12.11	12.28	18.1	18.1	16.7	18.1	18.1	16.7
レタス(RW1)	09.08	09.30	10.26	12.28	18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
レタス(RW2)	09.24		11.12	12.28	18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
レタス(RW3)	09.24	10.16	11.27	12.26	18.2	18.2	16.7	18.2	18.2	16.7
アスパラガス	04.28		04.06	06.08	17.5	17.5	11.9	17.5	17.5	11.9
マビキナ(ニンジン)										
マビキナ(ダイコン)										
マビキナ(カブ)										
カンショ苗					12.8	12.8	12.8	8.0	8.0	8.0
ボクソウ	07.03				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 2. 汎用耕地部門

### 岡山・八浜水田

平成4年度以降岡山水田と八浜農場は汎用耕地部門として一体的に水稻栽培を行ってきた。これに伴い、本年度も麦裏作の栽培は行っていないが、本年度より転作作物としてヘイ・スーダンを作付けた。

平成10年の気象概況は全国的に天候がかたよった年となり、岡山県南部でも4～6月は平年に比べ雨が多く、7～9月中旬までは雨の少ない天候。そして、9月中旬から雨が多くなり9月中旬に台風(5, 6, 7号)が3度西日本に近づき、10月中旬になって台風10号が八浜農場のある玉野市に上陸して日本列島を横断した。このため本農場が栽培している晩生品種ほど台風の被害を受け倒伏、穂発芽が発生した。

本農場でも台風10号によって岡山水田、八浜水田ともに倒伏し、一部には穂発芽がみられ品質の低下をまねいた。

水稻の作柄は長雨が続いた東北地方などにみられるように全国的にバラツキがあり全国平均作況指数は98の「やや不良」となり、岡山県の作況指数は104の

「やや良」となるが、中生、晩生と品種によって台風被害に差がみられた。

水稻栽培品種はアケボノに統一し、岡山1号水田は乾田直播栽培、2号水田は田植え機を用いて成苗(葉齢5～5.5)を移植栽培した。また、3号水田では、修士・卒業論文作成のための試験が行われ、多くの研究成果が報告された。

八浜農場は1号～5号水田は乾田直播栽培、6号水田に成苗(葉齢5～5.5)を用いた移植栽培とした。さらに、乾田直播栽培水田では秋落ちしやすい傾向がみられるので水田の一部分に追肥を行った。

本農場の水稻収量は岡山水田469kg/10a、八浜水田509kg/10a、平均503kg/10aとなり昨年(527kg/10a)より低かった。

また、本年度より作付けたヘイ・スーダンは天候不順で初期生育が悪く1回刈り目は650kg/10aと少ないが、天候が回復した2回刈り目には2420kg/10aとなり、合計3070kg/10a(生草)となった。

(多田正人)

第1表 栽培面積

作目	栽培様式	品 種	栽培圃場 及び 面積(a)	合計(a)
岡山水田				
水稻	移 植	アケボノ	1号(40)	40
	移 植	アケボノ	2号(64)	64
	移 植	アケボノ	3号(10)	10
	試験研究用		3号(5, 研究室・未収穫)	—
八浜水田				
水稻	直 播	アケボノ	1号(281) 2号(158) 3号(69) 4号(81) 5号(134)	723
	移 植	アケボノ	6号(54)	54
牧草		ヘイ・スーダン	1号(70)	70

第2表 栽培の概要

作目	栽培様式	品 種	播種・移植期	播種量 kg/10a	種類	施肥量(kg/10a)			収穫期
						N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	
岡山水田									
水稻	直 播	アケボノ	5/26	6.0	L P	9.8	9.8	9.8	10/25～10/26
	移 植	アケボノ	5/21・6/17	1.4	L P	8.4	8.4	8.4	10/25～10/26
八浜水田									
水稻	直 播	アケボノ	5/7～5/20	6.0	L P	8.4～10.7	8.4	8.4	10/12～11/5
	移 植	アケボノ	5/12～6/23	1.4	L P	8.2	8.2	8.2	11/6

第3表 水稲防除作業内容

	薬剤名	圃場名	使用量(10a)	作業月日
八浜水田				
除草剤	サターン乳剤	1, 2, 3, 4, 5号田	1000 ml	5/22 ~ 6/1
	スタム乳剤	1, 2, 3, 4, 5号田	1000 ml	5/22 ~ 6/1
	スタム乳剤	1, 2, 3, 4, 5号田	670 ml	6/12
殺虫・殺菌剤	シザン粒剤	1, 2, 3, 4, 5, 6号田	3 kg	6/22 ~ 6/26
	ダイストン粒剤	1, 2, 3, 4, 5号田	4 kg	5/28 ~ 6/8
	EPN 乳剤	1, 2, 3, 4, 5, 6号田	75 cc	7/30 ~ 8/3
	ハリダシ水和剤	1, 2, 3, 4, 5, 6号田	75 g	7/30 ~ 8/3
	アプロード水和剤	1, 2, 3, 4, 5, 6号田	75 g	7/30 ~ 8/3
	EPN 乳剤	1, 2, 3, 4, 5, 6号田	65 cc	8/17 ~ 8/25
	ハリダシ水和剤	1, 2, 3, 4, 5, 6号田	65 g	8/17 ~ 8/25
	アプロード水和剤	1, 2, 3, 4, 5, 6号田	65 g	8/17 ~ 8/25
	ヒノザン乳剤	1, 2, 3, 4, 5, 6号田	65 cc	8/17 ~ 8/25
	岡山水田			
除草剤	トリアリサイド粒剤	1号田	3 kg	5/27
	シザン粒剤	1, 2, 3号田	3 kg	6/18
殺虫・殺菌剤	ダイストン粒剤	1号田	4 kg	6/8
	EPN 乳剤	1, 2, 3号田	75 cc	7/29
	ハリダシ水和剤	1, 2, 3号田	75 g	7/29
	アプロード水和剤	1, 2, 3号田	75 g	7/29
	EPN 乳剤	1, 2, 3号田	65 cc	8/19
	ハリダシ水和剤	1, 2, 3号田	65 g	8/19
	アプロード水和剤	1, 2, 3号田	65 g	8/19
	ヒノザン乳剤	1, 2, 3号田	65 cc	8/19



### 3. 装置化生産部門

#### 果 樹 部

平成10年度は気候的には変化の激しい年であったが、灌水設備やハウス、温室などの施設が充実している岡山農場果樹園においてはこのような気象はむしろ好適に作用した。各果実の生産量を概観してみると、今年度は、各果樹とも、豊産であった前年度とほぼ同じ生産量をあげることができ(第1表)、豊作年が2年続くこととなった。

また、本島農場の柑橘類は引き続き隔年結果の傾向にあり、温州ミカンの10年度の生産量は9年度の約半分であった(第2表)。各果樹の概況は以下のとおりである。

第1表 平成10年度における岡山農場果樹種類別・品種別の販売量

種類	品種	面積 (a)	販売量 (kg)
モモ	清水白桃	11.3	746
	あかつき	3.8	318
	紅清水	3.8	180
	黄金桃	3.8	276
	白鳳	4.1	182
	その他	1.4	83
	計	28.2	1785
ブドウ	藤稔	8.5	1357
	ピオーネ	9.6	929
	巨峰	4.3	626
	マスカット・ベリーA	5.8	1279
	ヒロハンプルグ	2.9	536
	アーリー・スチューベン	1.9	228
	ネオ・マスカット	1.0	98
	デラウェア	1.9	0
	マスカット・オブ・アレキサンドリア	5.7	567
	グロー・コールマン	0.8	116
計	42.3	5736	
リンゴ	つがる	5.8	1207
	千秋	2.0	148
	ふじ	9.7	924
	計	17.5	2279
カキ	富有	4.9	576
	松本早生富有	15.9	475
	平核無	7.9	952
	西条	4.9	237
	愛宕	4.0	生果466kg, 乾果3266個
	その他	2.0	31
	計	39.6	生果2737kg, 乾果3266個
キウイフルーツ		15.0	0
ウメ		4.0	277
ビワ		5.0	168
その他 (セイヨウナシ, ユズ, クルミ, ベカン)		12.0	0

第2表 本島農場で生産された柑橘類の種類別販売量

種類	販売量 (kg)	
	平成9年度	平成10年度
温州ミカン	6617	3636
ナツミカン (甘夏)	3409	2912
イヨカン	676	1046
ハッサク	433	568
ポンカン	56	124
セミノール	438	
レモン	110	131
その他	950	

注) ナツミカンは2~3月に収穫したものを4~6月に販売した。空欄は未確定

### (1) モモ

本格的な結果期に入って3年目の‘あかつき’と‘紅清水’は、収穫前の降雨が少なかったため果実の肥大は劣ったが、食味は非常に優れていた。同じく若木の‘黄金桃’は、落果が多く、渋味が口に残る傾向がみられた。‘清水白桃’は、一般に食味は良かったが、Brix値が8～14と果実によるばらつきが大きく、一部の果実には渋味が感じられた。なお、栽植されて20年以上経過している1号園では、樹勢の低下がさらに進んだため、今年度も間縮伐を行った。

### (2) ブドウ

ハウス栽培されているブドウは、各品種とも、ほぼ前年並みの生産量を上げることができた。4倍体品種(‘藤稔’、‘ピオーネ’、‘巨峰’)の今年の品質はやや不良で、‘藤稔’では果肉が例年よりも柔らかく、‘ピオーネ’と‘巨峰’では着色と食味が劣る房の割合が高かった。‘ヒロハンプルグ’は、ここ数年販売所で不人気であったが、今年はジベレリン処理(25ppm, 1回)を施したため1粒約7gに肥大し、売れ行きも好調であった。以前からコナカイガラムシの被害を受ける果房が園内のところどころでみられたが、今年になって、この被害が‘ピオーネ’と‘ヒロハンプルグ’の園のかなり広範囲に拡大した。このため、カイガラムシの発生が認められた樹については、秋期に粗皮剥ぎを行った。また、‘巨峰’では裂果発生の極めて著しい樹がみられ、‘マスカット・ベリーA’では着果負担量が大きかったため樹勢の低下が認められた。前年度新たに定植した‘デラウェア’は、灌水量が不足し、生育は芳しくなかった。

ガラス室で栽培されている‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’は、摘粒時期が遅れたため果粒の肥大がやや劣った。育成中である大温室および空調室の‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’の苗木は順調に生育した。大温室の成木については、冬期に根域を拡大した。

### (3) リンゴ

生産量は、不作であった前年と比較すると各品種とも微増であったが、矮化栽培園としては、依然として低い収量水準にあるといえる。当園の生産性が低いことの主な原因としては、摘果時の労力不足による着果

過多が引き起こす隔年結果と、徒長的な生育による樹勢の不安定さがあげられる。当園では、昨年、‘ふじ’の一部の樹がナミハダニの被害を受けて早期に落葉し、花芽の形成が極端に妨げられた。このため、前年被害がみられた樹では、今春の開花数が極端に少なく、収穫できた果実は1本の樹に数個程度にとどまった。今年みられた果実の品質上の問題点は、‘つがる’では果実の硬度不足と収穫直前の落果、‘千秋’では摘果不足による果実肥大の不良、‘ふじ’では果柄基部の裂果(つる割れ)と食味不良であった。

### (4) カキ

隔年結果の影響も少なく、生産量は各品種ともほぼ前年並みとなった。‘愛宕’は一部を干し柿に加工して販売したが、へたすき果や干し柿用には大きすぎる果実が多く、乾燥中に腐敗する比率が高かった。本年は秋季に雨天の日が続いたため炭疽病の発生が例年より多く、また、鳥害も多かった。改植を進めている1号園では、前年に引き続き、‘松本早生富有’8本の間伐を収穫終了後に行った。

### (5) キウイフルーツ

本年も苗木の中に枯死するものが相次ぎ、秋までに10個体が枯死した。春先に発芽しなかった個体には、地上部だけが枯死したものが多く、凍害による影響が考えられた。また、夏期にもいくつかの個体が枯死したが、その直接の原因は土壤の乾燥にあると考えられた。枯死する個体が多い一方、植え付け3年目の今年、比較的生育の順調な数本の個体には、わずかではあるが初めて結実がみられた。

### (6) 見本園

岡山農場見本園にはウメ、ビワ、セイヨウナシ、クルミ、ペカン、ユズが栽植されているが、管理が行き届かなかったため、ウメ、ビワ以外は販売可能な果実は生産できなかった。なお、ウメ、ビワについては前年並みの生産量であった。

### (7) 柑橘類(本島農場)

ナツミカン(平成9年2～3月に収穫)は前年の生産量を若干下回った。温州ミカンは裏年に当たるため、生産量は前年の約半分にとどまった。また、イヨカンなどでは樹勢の低下がみられ、鳥害も年を追うごとに甚大になってきている。

(松田政紀・近藤毅典)

## そ菜・花き部

平成10年度におけるそ菜・花き部の耕種・生産の概要を第1表に示した。本年度は、技官1名と技術補佐員1名の計2名で栽培管理を行った。昨年に比べ労働力がさらに減少したが、前号(第20号)で問題となったキュウリの作付を止めるなど、作目や作付面積を検討することにより、無理のない栽培管理を行うことができた。また、他部門が繁忙期にあたる時期には積極的に協力した。

圃場整備として、排水の悪い南2号圃場の中央部に暗渠を埋設した。また、南1、2号圃場の土壤中に有機質が不足しているため、緑肥として‘エビスグサ’、‘緑肥用ヒマワリ’、‘ネマクリーン’を植え付けた。平成8年度より継続している山地畜産部門・津高牧場からの牛糞を利用した堆肥作りも軌道に乗り、良質な堆肥が得られるようになった。

汎用温室B棟では灌水設備を改良し、管理用通路の幅を広げた。正月用のキクを栽培しているハウスにおいては電球の配線や灌水設備を作り直した。以上のような改良を行うことによって、いっそう効率的な栽培管理を行うことが可能となった。

昨年度より利用しているデータベースソフト・ファイルメーカープロで個別に管理していた日誌、肥料および農薬に関するデータを一つに関連づける事に成功し、栽培管理を行う上で非常に役立った。その一方で、データの関連づけをしていた最中に5~7月分のデータを失うという過ちを犯した。このため、今回の報告には作目ごとに集計した作業時間を掲載することができなくなった。同じ過ちを犯さないために、定期的なデータのバックアップに加えて、ファイル自体に自動で1ヶ月ごとにバックアップができるようにスクリプトを組み込んだ。

なお、農場報告第20号に掲載できなかったそ菜・花き部の耕種・生産の概要の追加分を第2表に示した。

### (1) 果菜類

トマトとナスについては本年度より市販の苗を購入することにしたため、育苗の手間を省くことができた。昨年度まではトマト、ナスとも枝の誘引にはテープナーを使用していたが、収穫後の跡片付けの際にテープをすべて片づけるのが困難なため、本年度から麻紐を使用することにした。この方式では、麻紐の強度や誘引作業に多くの時間を要すなどの問題点もあるが、誘引の仕直しや片づけの際に出るゴミを気にする必要がなくなった。

スイカを栽培する圃場には、昨年までは畝にビニールマルチとイナワラを敷いていたが、今年は収穫後のマルチはぎの労力を省くためイナワラのみを敷いた。イナワラの敷き方と敷く時期に問題があったため、株元にウリハムシが卵を産み付け、孵化した幼虫が根を食害した。この結果、7月上旬になってから枯死する個体が続出し、収穫量は昨年度よりも減少した。これを防止するには、イナワラをウリハムシの産卵前にスイカの株元に厚く敷くことが重要と思われた。

### (2) 葉菜類

ハクサイは、間引き作業の軽減と種苗代の軽減を目的として、必要最低限の種子を播種機を使用して圃場へ直播きした。しかし、種子がうまく落ちなかったために粗植となり、収穫量が減少した。ヨトウムシ、アオムシおよびコナガによる食害はこまめな薬剤散布によりほとんど防ぐことができた。

### (3) 花卉

1996年度にアルストロメリアを汎用温室B棟に移植したが、管理がしにくい配置であったため、株分けして苗を作り、再度移植した。本年度は、4、5月の天気が良く、気温と地温が高くなりすぎたため育苗中に根茎が休眠した。このため、秋に入ってから花芽がつかず、収穫ができるようになったのは12月になってからであった。

(高田圭太)

第1表 平成10年度における蔬菜・花卉の耕種・生産概要

種類	品種	圃場名	面積	収穫量
トマト	桃太郎	南1号	1.5 (a)	312.0 (kg)
ナス	長者	南1号	3.5 (a)	1250.5 (kg)
スイカ	美縞二号	南1号	7.5 (a)	1351.0 (kg)
キンウリ	金太郎	南2号	2.5 (a)	140.0 (kg)
ソラマメ	打越一寸	西1号	4.0 (a)	341.0 (kg)
ハクサイ	金将2号・他	南2号	14.1 (a)	1456.5 (kg)
中国野菜	青帝チンゲンサイ・他	南2号	2.5 (a)	184.3 (kg)
白タマネギ	OK玉葱	南2号	6.8 (a)	1448.0 (kg)
赤タマネギ	狸々赤玉葱	南2号	0.7 (a)	302.0 (kg)
タマネギ苗	OK玉葱, 狸々赤玉葱	南1号	2.0 (a)	30330 (本)
露地ギク	雪小路・他	南2号	5.5 (a)	6651 (本)
電照ギク	秀芳の心・他	ハウス	250 (m <sup>2</sup> )	3768 (本)
アルストロメリア	ビクトリヤ・他	汎用温室B	340 (m <sup>2</sup> )	640 (本)
カーネーション	カイン・他	ガラス温室	181 (m <sup>2</sup> )	2286 (本)
カーネーション	カイン・他	汎用温室B	180 (m <sup>2</sup> )	286 (本)
カスミソウ	プリストル・フェアリー	汎用温室C	140 (m <sup>2</sup> )	924 (本)
カラー	カーミネア	汎用温室B	22 (m <sup>2</sup> )	158 (本)
スターチス	ラメール・他	汎用温室C	140 (m <sup>2</sup> )	1217 (本)
フリージア	ゴールデンイエロー・他	汎用温室B	66 (m <sup>2</sup> )	132 (本)

第2表 平成9年度における蔬菜・花卉の耕種・生産概要（追加分1～3月分）

種類	品種	圃場名	収穫量
アルストロメリア	ビクトリヤ・他	汎用温室B	1580 (本)
カーネーション	カイン・他	ガラス温室	2200 (本)
カスミソウ	プリストル・フェアリー	汎用温室C	316 (本)
カラー*	ラメール・他	汎用温室B	0 (本)
スターチス	カーミネア	汎用温室C	1502 (本)
フリージア	ゴールデンイエロー・他	汎用温室B	1202 (本)

\*平成9年度においては収穫できなかった

## 4. 山地畜産部門

### (1) 和牛

平成10年の飼育牛移動状況を第1表に示した。子牛総生産頭数は37頭で、内訳は雌13頭、雄24頭であった。なお、受精卵移植による産子は雌3頭、雄1頭の計4頭であり、雌は3頭とも保留の予定である。本年の販売総数は36頭で、このうち子牛が26頭、肥育牛が10頭であった。

人工授精と受精卵移植による繁殖成績を第2表に示した。人工授精と受精卵移植による受胎率は、それぞれ88.6%、55.5%で、ともに高い受胎率を得ることができた。今後も安定して高い受胎率を維持するよう、より良い繁殖管理に努めたい。

子牛の販売成績を第3表に示した。出荷頭数は、去

勢13頭、雌13頭の合計26頭であった。前年と比較して、去勢、雌の出荷日齢はともに6日短くなり、出荷体重は小さく、価格は安値であった。現在保有している繁殖牛40頭の内、7頭が岡山県畜産センターとの共同研究で受精卵を移植して得られた産子である。その中に、育種価の高い繁殖牛もあり、今後はこれらの牛を改良の柱にしたい。

枝肉販売成績を第4表に示した。去勢牛の出荷月齢はおよそ28カ月で、枝肉の格付はA-2が3頭、A-3が1頭であった。肥育中期からW122号は、発育が止まり枝肉量があまりとれなかった。さらに、今後も肥育牛の衛生管理に注意し、削蹄の励行に努めたい。

(野久保隆・川畑昭洋)

第1表 平成10年度飼育移動状況

			雌				雄			合計 (頭)
			子牛	育成牛	繁殖牛	肥育牛	子牛	育成牛	肥育牛	
平成10年1月1日現在			14	1	40	3	10	4	1	73
期間 移動	増	生産	7	-	-	-	12	-	-	19
		振替	-	3	1	3	-	-	4	11
	減	振替	3	1	3	-	-	-	-	11
		へい死 売却	-	-	-	-	2	-	1	3
		売却	7	-	-	3	6	-	1	17
平成10年7月1日現在			11	3	38	3	15	0	3	72
期間 移動	増	生産	6	-	-	-	12	-	-	18
		振替	-	2	3	3	-	4	-	12
	減	振替	2	3	3	-	4	-	-	12
		へい死 売却	-	-	-	-	-	-	-	-
		売却	6	-	-	3	7	-	3	19
平成10年12月31日現在			9	2	38	3	15	4	0	71

第2表 平成10年人工授精と受精卵移植による受胎成績

	実施 頭数	受胎 頭数	受胎率 (%)	授精回数1		2		3		4以上	
				受胎	不受胎	受胎	不受胎	受胎	不受胎	受胎	不受胎
人工授精	35	31	88.6	22	1	5	1	4	1	-	1
受精卵移植	9	5	55.5	5	2	-	2	-	-	-	-

第3表 平成10年度の子牛販売成績

販売年月日	子牛番号	生年月日	性別	生後日齢(日)	体重(kg)	日齢体重(kg/日)	落札価格(千円)	kg当り単価(円/kg)	母牛番号	父牛名号	ET産子
10.01.22	R626	09.03.16	雌	312	248	0.794	264	1,064	Y190	福鶴	
	R629	09.03.29	雌	299	244	0.816	254	1,040	Y160	平田	
	R631	09.04.13	雌	284	272	0.957	230	845	Y168	平田	
	R632	09.04.22	去	275	274	0.996	255	930	Y148	平田	
10.03.06	R634	09.04.18	雌	261	277	1.061	308	1,061	Y162	藤花	
	R635	09.06.26	去	253	261	1.031	381	1,459	Y179	福鶴	
10.04.24	R636	09.06.26	雌	302	254	0.841	219	862	Y189	照藤	
	R640	09.08.31	雌	236	233	0.987	174	746	Y171	花守	ET
	R641	09.09.01	雌	235	231	0.987	219	948	Y164	第2富藤	
	R644	09.09.13	去	223	250	1.121	368	1,472	Y182	第2富藤	
10.06.13	R645	09.09.24	去	262	260	0.992	203	780	Y173	照藤	
	R648	09.10.21	去	235	256	1.089	247	964	Y93	平田	
	R649	09.11.02	去	223	270	1.210	267	988	Y178	第5仙山	ET
10.08.28	R650	09.11.16	雌	285	277	0.971	274	989	Y187	平田	
	R651	09.12.16	雌	255	231	0.905	249	1,077	Y177	福鶴	
10.10.17	R656	10.02.15	去	244	267	1.094	293	1,101	Y194	西勝	
	R657	10.02.20	去	239	282	1.179	267	946	Y100	第2富藤	
	R659	10.02.26	雌	233	251	1.077	232	924	Y174	平田	
	R660	10.02.26	去	233	252	1.081	290	1,150	Y160	平田	
10.11.20	R654	10.02.13	去	280	250	0.892	241	964	Y139	平田	
	R661	10.03.04	去	261	257	0.984	363	1,412	Y195	藤福	
10.12.18	R658	10.02.21	雌	300	241	0.803	265	1,099	Y196	稔糸茂	
	R662	10.03.14	雌	279	242	0.867	212	876	Y147	平田	
	R663	10.03.30	雌	263	235	0.893	265	1,127	Y191	赤木1	
	R664	10.04.03	去	258	261	1.012	56	1,364	Y155	第2富藤	
	R665	10.04.28	去	234	250	1.068	272	1,088	Y168	平田	
	平均	去勢	13	248	261	1.058	293	1,124			
		雌	13	272	249	0.919	243	978			

第4表 平成10年度の枝肉販売成績

と殺年月日	耳標番号	性別	水引枝肉重量(kg)	枝肉規格	枝肉単価(円/kg)	売上金額(円)
10.01.26	Y137	雌	259.3	C-1	230	60,564
10.04.22	Y115	雌	364.2	B-2	450	172,018
	Y169	雌	393.4	A-2	500	206,868
	W118	去	477.6	A-2	1,200	588,620
10.10.14	Y163	雌	320.5	A-2	350	117,519
	Y164	雌	333.1	A-2	600	206,724
10.11.04	Y176	雌	337.5	A-2	500	4176,23
	W122	去	284.6	A-2	1,050	309,028
10.11.12	W119	去	414.3	A-2	1,180	504,256
	W120	去	399.4	A-3	1,450	590,724

## (2) 飼料作物

平成10年における飼料作物の生産状況を第1表に示した。

飼料作物の青草換算による総収量は533,102kgであり、10a当たり平均収量は4,640kgであった。利用形態別による収量割合は青刈りが24.6%、乾草が16.1%、サイレージが24.6%、放牧が34.7%であった。本年は乾草調製の時期が天候に恵まれたために、昨年の生産量の約2倍となった。トウモロコシとソルゴーを仕向けたサイレージ調製による収量は、生育期の初期に降水量が多く、さらに中期に乾燥の影響を受けたが、後半に気象条件も回復し、最終的に昨年並みの収量が得られた。

昨年に続き、採草地のA号草地でサイレージ用トウモロコシとソルゴーを栽培したが、本年度は生育が不良であった。原因として、岡山空港を建設する時に表土を移動し、異なる土壌を搬入したために、草地内で排水性と保水性に著しい差が生じていることが考えられる。今後の課題としては、堆肥を中心とした有

機質を投入し、土壌改良を進めていく必要がある。

本年も放牧草地内で、外来雑草のイチビ、ワルナスビの発生が多く見られた。そこで、昨年と同様に、イチビは早期の段階で抜き取りによる除去をした結果、被害を受けなかった。一方、放牧地に局所的に発生しているワルナスビについては、放牧後に整理刈りを行い、発生部分へラウンドアップ散布を行った。しかし、その効果は十分でなかった。また、例年、放牧地に発生しているオナモミ、ギシギシ、野生のイグサの除草管理を、学生実習の一環として行っているものの、回数が少なく十分な効果を上げることができていない。なお、5年前に学部生が卒業論文の実験で放牧圧を高めることで、本牧場内の放牧草地にあるギシギシの植生を衰退させ成果をあげた。しかし、現在の職員数では、きめ細かな放牧管理が出来ないために、その成果を生かし切れない状況にある。そこで、今後は強害雑草の対策として、放牧後に行う掃除刈りの時期や除草剤の利用等、総合的な検討が必要である。

(野久保隆・川畑昭洋)

第1表 平成10年における飼料作物生産量

草地	面積 (a)	作物	利用形態別収量(kg)				放牧 延頭数	生草換算 収量(kg)	草地当り収量(kg)	
			青刈	乾草	サイレージ	放牧			生草合計 収量	10a当り 平均収量
A	100	イタリアン	5,735	3,210	1,200			25,385	98,838	9,884
		スーダン	4,830				4,830			
		トウモロコシと ソルゴ-混播	6,830	25,384			57,598			
		スーダンと ソルゴ-混播	2,455			2,455				
		ソルゴ-	8,570				8,570			
B	65	混播牧草				17,280	432	17,280	17,280	2,658
C	120	混播牧草				38,720	968	38,720	38,720	3,227
D1	20	混播牧草				800	20	800	800	400
D2	130	イタリアン	2,130	1,820				11,230	90,224	6,940
		スーダン	19,190	300			20,690			
		トウモロコシ	3,040		27,632		58,304			
E	76	イタリアン	12,205	3,410				29,255	58,345	7,677
		ソルゴ-	7,510	10,790			29,090			
F	104	混播牧草				34,720	868	34,720	34,720	3,338
G	112	混播牧草				30,240	756	30,240	30,240	2,700
H	47	混播牧草				10,000	250	10,000	10,000	2,128
I	185	混播牧草				53,200	1,330	53,200	53,200	2,876
K1	90	イタリアン	15,870	2,180				26,770	35,980	3,998
		イタリアンライと エンバク混播	9,210				9,210			
K2	60	イタリアン	9,420	1,585				17,345	40,525	6,754
		スーダン	11,180	2,400			23,180			
K3	40	イタリアン	3,160	1,590				11,110	24,230	6,058
		スーダン	9,770	670			13,120			
合計	1,149		131,105	17,165	65,006	184,960	4,624	533,102	533,102	4,640

利用形態別における生草換算収量

青刈	乾草	サイレージ	放牧	合計
131,105	85,825	131,212	184,960	533,102

\*サイレージの生草換算はイタリアンライグラス×3、トウモロコシ・ソルゴ×2  
\*乾草の生草換算は×5